

## 編集後記

本施設報も第2号を発行することになり、今回は少しでも読みやすいものと心がけ、編集を行いました。瀬戸内海に面する大学として学内の方々に関心の深い「水質総量規制」の問題を解説し、何かのお役に立てばと考えております。現在の環境管理施設は、名前は立派だが、中身は単なる廃液処理施設である。現在何のプロテクトもないために、ウィルスやバクテリアあるいは病原菌、DNA組換えの失敗廃液が持込まれるのを恐れている所である。施設で病人が出たり、怪獣や新生物が出没することのないよう利用者の方々に充分御注意頂きたい。

大学の環境管理はやはりアドミニストレーションが取組んで頂くべき問題で、大学からの排水または廃水の問題や、総量規制あるいは、他大学でも行なわれ始めているような、「医療系廃水、廃棄物中の病原性微生物調査とその処理対策」等に対しては、現在の環境管理施設は無力であることを申し上げたい。

なお、本施設報は皆様方からの原稿を募集しておりますので、ご寄稿頂くとともに、是非御意見御希望をお寄せ下さい。

(Z. T)

### 本施設に関する印刷物

- 岡山大学特殊廃水処理施設年報（昭和51年度）
- 岡山大学環境管理施設有機廃液部門（利用の手引き）
- 岡山大学環境管理施設無機廃液部門（利用の手引き）
- 岡大広報 37（1978. 12. 20）
- 岡山大学環境管理施設報第1号（昭和54年10月1日）

### 岡山大学環境管理施設

〒700 岡山市津島中3-1-1

電話 0862 (52) 1111  
(内線 449)